

留 意 事 項 (2 級 ガ ソ リ ン)

問題 1

- ① ランプ点灯回路のスイッチは、受験者自身で操作すること。
- ② ランプ点灯回路の測定端子番号と、回路図内及び文中の番号は同一です。
- ③ サーキット・テスタによる測定は、**電圧測定のみで行い**、抵抗及び導通の測定は絶対に行わないこと。

留 意 事 項 (2 級 ガ ソ リ ン)

問題 2

問 1

- ① ピストン・ピンの外径の測定箇所は**赤側と中央部**とします。



- ② ピストンのピストン・ピン穴の内径の測定箇所は**赤線**で表示してあります。



- ③ コンロッド小端部には、**白線**と**黄線**が表示してあります。
なお、内径の測定は**黄線**で示した箇所で行うこと。



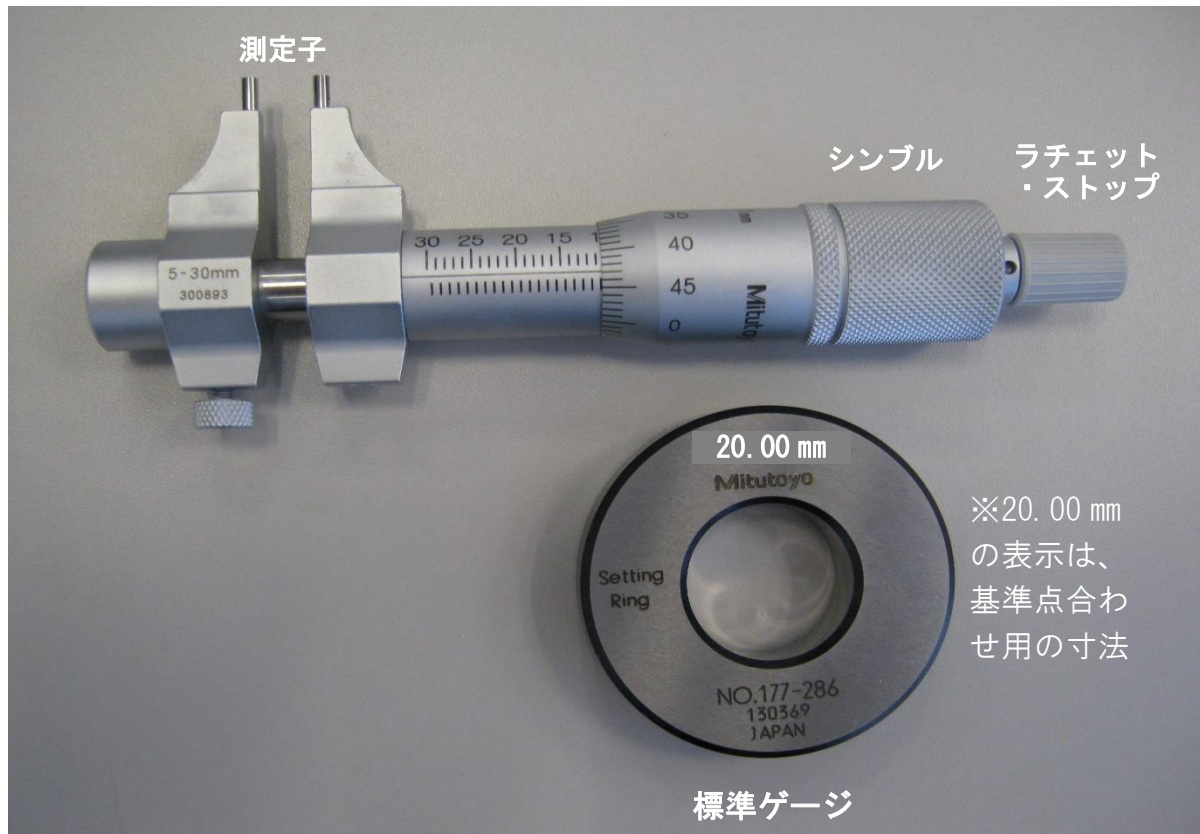
- ④ 試験の都合上、ピストン・ピン固定用のスナップ・リングは、片側のみ外してあります。

※なお、計測終了後、ピストンとコンロッドを組み付ける必要はありません。

※内測用マイクロメータの基準点(基点)

の点検方法

- (1) 測定子を、標準ゲージの内径寸法より少し短めにセットし、標準ゲージに差し込む。
- (2) 測定子と標準ゲージが軽く接触してから、ラチェット・ストップをカチカチと回転させて目盛を読み取り、標準ゲージの基準点合わせ用の寸法と照らし合わせる。



問2 試験の都合上、基準値は下記のとおりです。

- ①ピストン・ピン穴とピストン・ピンのクリアランス
基準値：0.00～0.01mm
- ②ピストン・ピンとコンロッド小端部のクリアランス
基準値：0.00～0.02mm

留 意 事 項（２級ガソリン）

問題３

ハンド・バキューム・ポンプの使用前点検は不要である。

問 １ バキューム・スイッチの正常時の作動

バキューム・スイッチは、大気圧では導通（ランプ点灯）し、負圧（約 -40kPa ）では導通がない。

問 ２ 無負荷時気密試験

計測開始時に制動倍力装置内の負圧を、約 -10kPa （試験の都合上）にして、その約 10 秒後の負圧が、約 $-10\text{kPa}\sim-6\text{kPa}$ の範囲内にあること。

※時間を計測する場合は、試験委員がストップ・ウォッチを操作しますので、計測開始時には試験委員に指示して下さい。10 秒後の合図は、試験委員が伝えます。

問 ４ 真空式制動倍力装置に組み付けたときのイメージ

